



水稻用殺虫殺菌剤

ドクターDr.オリゼリティア® 箱粒剤

幕開け。
新たな
殺虫殺菌の



内穎褐変病、
イネヒメハモグリバエ、
イネカラバエ、
イネツムシにも
効果あり!



特長

- 新規殺虫成分フルピリミンが既存剤に感受性が低下した害虫にも効果を発揮!
- 信頼と実績の殺菌成分プロバナゾールが、いもち病に対して高い防除効果を発揮!!
- 育苗箱施用のほか、移植時側条施用、は種時土中施用(湛水直播水稻)が可能!

水稻用殺虫殺菌剤

Dr.オリゼリディア® 箱粒剤

有効成分：フルピリミン…2.0% プロペナゾール…24.0%
人畜毒性：普通物（毒劇物に該当しないものを指す通称）

1

Dr.オリゼがいもち病に対して高い防除効果を発揮!!

殺菌成分のプロペナゾールは植物体の防御機構を活性化し、いもち病に対して高い防除効果を示します。

2

リディアが、既存剤に感受性が低下した害虫にも効果を発揮!!

殺虫成分のフルピリミンは昆虫の神経伝達系に作用し、麻痺を引き起こして殺虫効果を発揮します。

3

新規殺虫成分「フルピリミン」は、ミツバチへの影響が小さい!!

ミツバチのほか、多くの有用昆虫や天敵類に対して影響はほとんどありません。

適用病害虫と使用方法

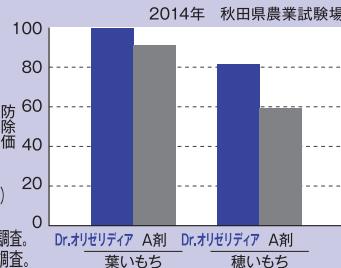
2024年1月31日現在の登録内容

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フルピリミンを含む農薬の総使用回数	プロペナゾールを含む農薬の総使用回数
稻 (箱育苗)	いもち病、白葉枯病 イネドロオイムシ イネミズゾウムシ ウンカ類 ツマグロヨコバイ 穂枯れ(ごま葉枯病菌)	育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壤約5l) 1箱当たり50g	移植7日前～移植当日	1回	育苗箱の上から均一に散布する。	3回以内 (移植時までの処理は1回以内、 本田では2回以内)	2回以内 (移植時までの処理は1回以内)
	もみ枯細菌病、内穎褐変病 ニカメイチュウ イネヒメハモグリバエ イネカラバエ、フタオビコヤガ イナゴ類、イネツトムシ		移植当日				
	穂枯れ(ごま葉枯病菌)		移植3日前～移植当日				
	いもち病、白葉枯病 もみ枯細菌病 内穎褐変病 イネドロオイムシ イネミズゾウムシ ウンカ類、ツマグロヨコバイ ニカメイチュウ イネヒメハモグリバエ イネカラバエ フタオビコヤガ イナゴ類、イネツトムシ	高密度には種する場合は 1kg/10a 育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壤約5l) 1箱当たり50～100g	移植当日				
	いもち病 イネドロオイムシ イネミズゾウムシ		移植3日前～移植当日				
	湛水 直播水稻	1kg/10a	は種時		は種同時 施薬機を用いて土中施用する。	3回以内 (は種時までの処理は1回以内、 本田では2回以内)	2回以内 (は種時までの処理は1回以内)
	稻		移植時		側条施用	3回以内 (直播でのは種時又は移植時までの処理は1回以内、 本田では2回以内)	2回以内 (移植時までの処理は1回以内)

試験成績

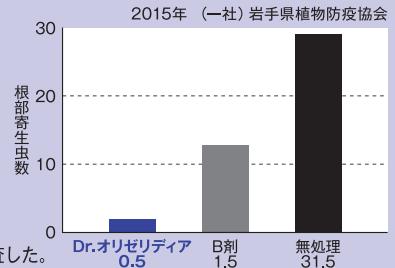
●いもち病

品種：ナツミノリ
播種日：4月10日
移植日：5月16日
処理方法：育苗箱処理
処理日：5月16日(移植当日)
発生状況：葉いもち：少発生(接種)
穂いもち：中発生
調査日：7月31日(葉いもち)、9月11日(穂いもち)
調査方法：
葉いもち…各区100株の上位3葉について毎株に病斑を調査。
穂いもち…各区25株の全穂について発病程度別に調査。



●イネミズゾウムシ

品種：あきたこまち
播種日：4月18日
移植日：5月19日
処理方法：育苗箱処理
処理日：5月19日(移植当日)
発生状況：中発生
調査日：7月13～14日
(移植55～56日後)
調査方法：
各区5株2地点の根部寄生虫数を調査した。



Dr.オリゼリディア箱粒剤は各病害虫に対し、高い防除効果が認められた。

- 使用前にはラベルをよく読んでください。 ● ラベルの記載以外には使用しないでください。 ● 本剤は小児の手の届く所には置かないでください。
- 使用量に合わせて秤量し、使いきってください。 ● 使用後の空袋・空容器は圃場や用水路などに放置せず、環境に影響のないよう適切に処理してください。 ● 防除日誌を記帳しましょう。

お問い合わせ/ご注文は



三井化学クロップ＆ライフソリューション株式会社

東京都中央区日本橋1-19-1日本橋ダイヤビルディング
ホームページ <https://www.mc-cropsolutions.com>